



▼1示された基本方針案。曲線を描く住宅群が目目を引く。▼2町中心部としては、広大な建設予定地。▼南側に町と桜並木を繋ぐ開かれた広場を設ける計画となっている。

「十日町地区定住促進住宅整備事業基本計画」の基本方針案が、12月8日に開催された議会全員協議会の場で、町議会議員の皆さんに示されました。

町中心部としては比較的広い土地を有効に活用するため、若者向け定住促進住宅を中心に、町の重要な拠点となるよう(株)岸・林設計同人が計画を策定しました。ターゲットは「金山に住みたい」という幅広い世代。一人暮らしや家族

での入居も含め、適正な戸数を検討中です。金山住宅を継承しつつも、内部空間は若者が魅力的に感じるようなモダンな雰囲気。機能面では、落雪屋根や車庫入口の集約化など、冬場の雪処理問題にも積極的に対応しています。また、ラウンジなどの共有機能も充実させ、孤独・束縛のない緩やかな共同体を理想とします。

近い将来にも実現を目指す十日町地区定住促進住宅。今後の動向について、引き続き広報かねやまでお伝えしていきます。

十日町地区に建設予定の定住促進住宅事業の基本計画が示される

四季の学校谷口 育英資金として50万円の寄附



12月25日、NPO法人四季の学校谷口の皆さんから「町づくりや教育分野に役立ててほしい」と町に50万円の寄附をいただきました。

20年の歴史に幕を閉じ、解散を迎えた四季の学校谷口。今までの支援に対する感謝の思いを込めて、庄司博司さん(谷口)から鈴木町長に寄附金が手渡しされました。「手探りの状態であったからこそ、やってこられた」と感慨深く語ってくれました。

無 火災・無災害を呼びかける 町消防団年頭集会



1月7日、消防団幹部年頭集会在が開催されました。柿崎久芳団長は「予防活動や各種訓練に努めるとともに、関係機関と連携を図り、災害現場で迅速かつ正確な活動が実践できるように、しっかりと準備をすることが必要」と訓示。また、防災力を高めるため、東北福祉大学特任講師の京英次郎氏が講演されました。

終了後、防火パレードを行い、火災予防の徹底を呼びかけ、無火災・無災害を祈念しました。

人 権擁護委員に星川恵子さんが新任せび気軽にご相談を



人権擁護委員を9年間にわたり、3期務められた小野美喜子さんが退任され、平成30年1月1日付けで新たに星川恵子さん(羽場)が着任されました(写真左から星川恵子さん、須藤幸一さん、柴田幸雄さん)。

人権擁護委員は、地域住民から人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っているほか、法務局などの公共施設などにおいて、地域の皆さんの人権相談を受ける活動を行っています。

米 の食味コンクール「つや姫」部門 今田政男さんが最優秀賞



平成29年産米を対象とする「オールやまがた米づくり日本一運動最上地域本部食味コンクール」のつや姫部門において、今田政男さん(上台)が最優秀賞に輝きました。

今田さんは「とても光栄。周りの皆さんのおかげで受賞できた」と受賞に驚きを見せつつも、自らの米づくりを支える全ての方への感謝を示していました。金山産米は2年連続の最優秀賞。今後さらなる飛躍を遂げることを願います。

飛 躍の年になることを願う 町商工関係者や各地区区長らが新年祝賀会



1月5日、もがみ北部商工会金山支部・金山町経営者懇話会共催の新年祝賀会が開催されました。商工関係者や経営者懇話会会員、各地区区長のほか町教職員など、およそ100名が参加。名刺や情報交換等を行いながら、懇親を深めました。鈴木町長、柴田町議会議長らを囲んでの鏡開きでは、威勢の良い掛け声とともに振舞酒の樽蓋が割られ、平成30年の門出を祝いました。

会の冒頭、星川支部長は「昨年初めて取り組んだ職業体験学習を今年も継続することで、金山に住む子ども達に地域の魅力を知ってほしい。人口減少や高齢化、人材不足など、町が抱える課題の解決に繋げていきたい。今後も金山町の発展のため、プレミアム商品券の発行など、皆さんと協力して事業を行っていききたい」とあいさつされました。

続けて鈴木町長があいさつ。「金山町は小さな町だが、皆さんの力を合せば、とても大きなものになる。これからも町民の皆さんの声や要望に耳を傾けながら、町づくりを進める。また、台湾などからのインバウンド受け入れを含めた観光交流、定住促進や道路整備など、皆さんが幸せになるような取り組みを行っていく」と町の課題を的確にとらえた施策の展開について、話されました。

「平成」もあと1年3ヵ月。鈴木町長も「今年が貴重な1年だ」と話します。皆さんにとって、飛躍の年になることを願います。